

2020年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京IT会計専門学校仙台校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和元年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 2020年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

青野 也寸志 氏 宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭
阿部 里歩 氏 株式会社日本旅行東北 仙台支店 法人公務営業課
柿田 光太郎 氏 リュージャパン株式会社 宮城支社
仙台イノベーション営業グループ アシスタントマネージャー
中嶋 竜大 氏 株式会社ナナイロ 代表取締役社長
西野 健太 氏 太陽有限責任監査法人 公認会計士 東北事務所

<事務局>

金森 敏光 東京IT会計専門学校仙台校 校長
田村 聡 東京IT会計専門学校仙台校 教務部課長
鈴木 祐一 東京IT会計専門学校仙台校 教務部課長
松元 崇彦 東京IT会計専門学校仙台校 教務部副主任

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか</p> <p>目的及び育成人材像については、学則第1条に明確に定めており、ホームページにも公開をしている。学園の目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ教職員一丸となり取り組んでいる。</p> <p>(意見) 目標が明確に定められており、現在のニーズに堅実に取り組んでいる。各種試験の実績の裏付けもあり適切であると言え、問題はないと考える。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学独自のゼミ学習で勉学を進めることによって国家資格、検定資格の高い合格実績や就職実績、およびコミュニケーション能力、協調性を育んだ。このことは、入学希望者にもオープンキャンパスなどでわかりやすく説明</p>

	<p>している。</p> <p>(意見) ゼミ学習による効果や就職実績や検定試験実績なども明確であり、適切で問題ない。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色が学生や保護者などに周知されているか</p> <p>ホームページ掲載や各教室、教務室、受付での掲示、オープンキャンパスなどでの説明で周知している。</p> <p>(意見) ホームページの情報公開や学校内の掲示物も徹底されており、周知されている。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</p> <p>ゼミ学習を通じて明るい学園生活と高い合格実績、就職実績が両立している。1800 社以上の学内就職セミナーのアンケートや教育課程編成委員会を通じて実社会の方々の意見を取り入れカリキュラム編成を常に考察している。</p> <p>(意見) 実績がしっかり出ているので、適切でよいと考える。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし、学校運営をしている。この基本目標は教務室、事務室、受付などで学生からもよく見える場所に掲示してある。</p> <p>(意見) 基本目標が職員全員に周知されているようなので問題はないと考える。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</p> <p>運営組織図があり、各部署の役割と権限、人的体制が十分整っている。</p> <p>(意見) 明確化されているので有効に機能しており問題ないと考える。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>人事や賃金についての制度は、採用制度、昇進・昇給制度など人事考課制度が整備されている。人材の確保と育成は昨年度よりプロジェクトを立ち上げ、今年度も改善を行っていく。</p> <p>(意見) 不足している部分について今後、より改善をしていってほしい。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は各校管理職が行っている。学校間の調整は企画本部や学園協議会で決定している。</p> <p>(意見) 全国に学校が存在する中で、統一した運営がされているということは十分適切である。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p>

	<p>合格・就職・キャンパスライフの3本柱を充実させ実績をホームページで公開している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校名を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p>(意見) 情報の公開についても配布物、ホームページなどで合格者のインタビューも公開されており、適切である。</p> <p>へ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>学務システム、経理システムを個々に運用し学生管理を効率化している。求人情報についてもデータベース化を行い、学生への速やかな情報伝達を行っている。また、学務システムについてはVPNを全拠点で結んでいるためセキュリティについては強固なものを採用し、運用している。</p> <p>(意見) セキュリティについてはVPNを導入するなど必要なものが揃っていると考えられる。現代社会は「効率化」は常にテーマとなる。今後も時代の流れに乗り、整備をしていってほしい。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラム作成委員会を開催し、教育課程編成委員会での意見を踏まえて作成している。定期的な見直しと、時代に合ったものを実施できるようにしている。</p> <p>(意見) カリキュラムに外部からの意見を積極的に取り入れ何度も見直しが行われているので適切である。ゼミ学習は知識の習得以上にコミュニケーション能力向上の場といえる。その方向性は社会で最も必要とされているところである。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>学内就職セミナーで企業からのアンケート回答を基に「社会が求める人材像」を学生に明示。そのうえで多岐にわたる業界や職種の人柄、ニーズに対応できる教育を実践し、各学科とも修業年限でそのレベルに達するようにしている。</p> <p>(意見) ホームページにシラバスも公開されており、外部からの意見を吟味した上で明確にしているため、ニーズへの対応、教育の姿勢は適切といえる。</p> <p>ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>年2回開催する教育課程編成委員会で外部委員の意見を参考にカリキュラム編成委員会において、社会ニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成し、定期的に見直しも行っている。</p> <p>(質問) カリキュラムを年2回見直しすることで工夫はされているが、今年は新型コロナウイルスの影響で授業の遅れが懸念されている。この件については</p>

どのように対応されているか。

(解答) 休校によって授業日数が不足した分は夏休みを短縮し土曜日の授業を増やすことで、年間の授業日数を減少させないようにカリキュラムを再編成して対応している。

(意見) そこまでしっかりとした見直しを行い対応されているのなら問題ない。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

本学の基本的な教育方法であるゼミ学習を基に、専門知識のほかにもビジネスマナーや、職業実践専門課程制度認定校として企業等との連携した実践的な演習、および企業の人事担当者による学内就職セミナーを実施し、学生の意識づけをしているが、その方法の検証は継続していく必要がある。

(意見) 企業との連携授業が行われていること、そしてその結果として各種実績や内定率の数字に表れているので評価できる。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。また年2回、他校教員による各校見学会を実施し、相互に評価している。

(意見) 学生へのアンケートの実施や、外部の方からの意見を取り入れるなど様々な角度から評価を受けており適切といえる。

ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。

(意見) 別表にも詳細が記載されており基準が明確になっているので問題ない。

ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

学科ごとに目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実なものになるようカリキュラム編成をしている。

(意見) 一般的に「難関資格」といわれる試験について素晴らしい成果が見て取れる。カリキュラムが体系的で現状の指導体制で問題ないと考える。

チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか

人材育成目標に向け、専門性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保は、十分ではないが現状できている。

	<p>(意見) 人材の確保については十分でないところを、向上させる余地はあるが、現段階で資格・就職に影響が出ていないならよいのではないか。</p> <p>リ. 職員の能力開発のための研修などが行われているか</p> <p>専門性、人間性、教授力等の要件を備えた教員は確保できている。しかし、常に教員のレベルアップを図るため、年間を通じての自己啓発や外部企業と連携して実施する研修で最新の情報を取り入れるようにしている。</p> <p><各学科で実施している教員研修の紹介></p> <p>(意見) 社会の流れ、ニーズは刻一刻と変わっていくため、若者に求められることも変わってくる。それを指導する教職員の研修はとても重要で現状にとどまってほしくない。今後の機敏な対応をしていってほしいので、この評価でよいと感じる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p><会計学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 高い就職内定率を継続しているということで素晴らしい実績である。</p> <p><経理・情報研究学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 難関試験である公認会計士試験や税理士試験の合格実績が継続されていて素晴らしい。</p> <p><情報管理学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 誰もがすぐに合格するという資格ではない。それがこれだけ実績が見て取れるのは素晴らしい。就職実績については、進学を踏まえてみても高い水準なのではないか。</p> <p><IT ビジネス学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 学科の最も重要な目標が就職であれば、この就職率 100%という数値が全てを表していると考える。</p> <p><情報経理学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 資格の取得も大切だが、学習内容が大切であると考え。社会を支える情報分野と経理分野を授業展開しており、実績も十分であると考え。</p> <p><ビジネス学科：資格取得実績や、就職実績の紹介></p> <p>(意見) 今年は総合旅行業務取扱管理者試験が実施されなかったが、毎年目標にしている国内・総合旅行業務取扱管理者の両国家資格の合格率が高く、ゼミ学習の成果が出ている。実際に旅行関係で働いている身からすると羨ましい限りである。就職についても就職率 100%の数字だけでなく、学科・コースの就職が実現されていて素晴らしいと感じる。</p> <p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>入学直後の新入生就職セミナーを初め、年間スケジュールとして就職指導を行っている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>資格取得に関しても毎年の傾向と対策を綿密なカリキュラム会議にて決定し、姉妹校と協力体制をとり指導法を決定している。</p>

	<p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出すことなく卒業を迎えることが最終目標となるので、担任をはじめ教員全体で学生に目を配り、声をかけている。欠席した学生には担任が電話することにより長期の欠席にならないようにしたり、学生相談室を設け、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>(意見) 就職率、合格率が高いのは素晴らしい。それを継続できているのは組織としてしっかりとした人材育成もできているからだと思う。また退学率が非常に低いのは学校全体として学生に対して丁寧な取組みの成果であると言える。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当を招き学内就職セミナーを実施している。学生は、いろいろな悩みを持っており、担任のほかにも、学生相談室に相談できる体制をとっている。</p> <p>(意見) 就職内定率の高さはこのような支援体制、整備がしっかりされている成果だと思う。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>東日本大震災による学費免除制度や各種奨学金制度、また特別奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> <p>(意見) これだけの特待生制度、奨学生制度があれば適切である。</p> <p>ニ. 学生の健康を担う管理体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づき健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談に応じている。</p> <p>(意見) 健康診断の実施、指定病院での健康相談等が整っていればよい。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>各種部活動や学校行事などの課外活動に対しては積極的に支援し活発に行われている。学生主体で実施し、教員が助言指導をしている。</p> <p>(意見) 勉強だけでなく充実した学生生活を送ることが出来、適切な状況である。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活を送れるよう支援をしている。</p> <p>(意見) 現状の提携学生寮の案内をホームページや冊子等で行っており安心して進学先を考えられることが出来、適切である。</p>

	<p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>保護者に対しては年 4 回、出席・成績状況・相談室のお知らせを送付、必要に応じて面談をしている。</p> <p>(意見) 様々な保護者がいる中で手をかけている。なかなか難しいことだと思うが継続してフォローして行ってほしい。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p> <p>(質問) ほぼ適切であるという評価をしているが、今後セミナー等を増やすということか。</p> <p>(回答) 高校側また高校生が求めるニーズは今後変化する可能性があり、今後もさらに連携していく必要があると思うためである。</p>
<p>基準 6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、学生に教育上支障がないよう整備されている。また、防火管理者を定め、防災訓練を実施し、防災への意識喚起を行っている。</p> <p>(意見) 防災に関しては、どこまでやれるかという物理的な要素がある。常に状況の変化に対応して改善していくべき。学生の安全を考え、できることは整えて行ってほしい。</p>
<p>基準 7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>本学は AO 入学のエントリーを宮城県の高校生については 7 月、それ以外の高校生については 6 月からと定めていることから適正に行っている。募集活動の際も公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験においては本人の了承を得て、出身校名・氏名を掲載している。入学後のアンケートでも、教育成果が進路決定に大きく役に立ったと、回答を得ている。学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定している。</p> <p>(意見) 少子化社会の中、学校運営における肝となるところは学生募集である。その中でも適切な方法で、学生を募ることが求められるだろう。報告通り実施されていれば問題ないと考える。</p> <p>(質問) 学納金は妥当なものとなっているかに、ほぼ適切な 3 をつけているのはなぜか。</p> <p>(回答) 学納金は今後の社会情勢を踏まえ、変動が考えられるためである。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p>

	<p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務については、学園全体として学園本部で決定している。予算の編成については経理規程を定めており、適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査についても監事 2 名が事前説明を受けて監査を実行している。これらの報告については私立学校法に基づき公開している。</p> <p>(意見) 会計監査を厳しく行い、財務情報はホームページに公開し誰でも閲覧できる状況であるため適切であると考ええる。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規定があり、法令遵守推進管理者をおいて法令遵守の推進を図っている。</p> <p>(意見) 法人として法令遵守への研修などを行っており、これについて重くとらえ管理体制を整えていることは大変すばらしい。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報の取り扱いについては個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。合格情報や就職情報として学生氏名や出身校名を出す場合には本人の承諾を得てから取り扱っている。また学校が保有する学生の個人情報の取り扱いを外部業者に委託する場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。</p> <p>(意見) 説明通りの措置をとっているのであれば問題ないであろう。このまま個人情報について徹底して対策してもらいたい。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価委員会を設置し、点検・評価を行いその結果についてホームページで公開している。</p> <p>(意見) ハ. においてはこのような会を開催し、その結果を改善・向上に活かされているので今後も続けてほしい。公開に関してもホームページなどを通じて的確に行われており問題ないと考ええる。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>地域社会へのボランティア活動を奨励し、支援している。近隣の館外清掃をしておりとても好評である。地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献などが出来ているかと思う。今後さらに改善が必要かと考えている。</p> <p>(意見) 教育現場と地域は密接なほど良いと考える。今後も地域に寄り添い、向上心を持って地域活動を行っていただきたい。</p>

総括

1. 限られた時間の中で資格合格実績、就職実績を出していることに敬意を表したい。学生ひとりひとりに寄り添った教育をされていると感じた。また一人の退学者も出さないという姿勢が浸透していることが分かった。
2. 少子化が続く現状において、学校法人として継続して社会に貢献していくためには運営し続けることが必要である。そのために厳しさはあるが入学者の確保に力を入れてほしい。
3. 新型コロナウイルスの影響で就職市場が今後厳しくなることが予想されるが、御校の就職内定率の水準を保っていただきたい。民間企業社員の立場から、専門的な知識の習得だけでなく人間性教育にもさらに力を入れて欲しいと感じている。例えばコミュニケーション能力、仕事をする上での精神的な強さを身に付けてほしい。
4. 専門分野の資格取得や就職指導の取組みから人材輩出等の社会的役割にしっかりと答えているのではないかと感じた。今後、IT業界では人手不足が続くと考えられるが、社会情勢の変化に柔軟に対応して人材の輩出を継続的に行っていただきたいと思います。
5. 自己点検・評価の結果、その改善点が資格取得・就職実績等で学生に還元されていると感じた。旅行業界は現在大変厳しい状況であるが、過去何度も困難な状況から立ち上がってきた経験がある。旅行業界に興味がある学生には、熱い気持ちを持って就職試験に臨んでほしい。